



ふれあいネットワーク

ゆふい

# 社協だより

2016年  
7.28  
No.43



由布市災害ボランティアセンター

## もくじ

会長あいさつ .....	2	ボランティアコーナー.....	8
由布市災害ボランティアセンター.....	3	地域コーナー .....	9
平成27年度事業報告(概要) .....	4	ふれあいいいき健康サロン .....	10
平成27年度収支決算報告 .....	5	寄付のお礼 .....	11
福祉のひろば .....	6~7	お知らせ .....	12



この広報誌は一部共同募金の配分金で発行されています。

# 熊本・大分地震にあたって

ごあいさつ



社会福祉法人

由布市社会福祉協議会

会長 首藤 奉文

初めに、この度の熊本・大分地震に際しまして被災されました皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

マグニチュード七・三、由布市内での最大震度六弱を観測した今回の地震は、目に見えるところでは、屋根瓦が落ちるなどの家屋の損傷、石垣や塀の崩壊、道路の損壊、更に由布岳の形状も変化するなど甚大な被害をもたらしました。加えて、体が付き上げられるような揺れ、家のきしむ音、食器が割れる音、度重なる余震によりまして、私たちの精神状態と日常生活のリズムにも大きな影響を及ぼしました。

被災から三ヶ月たった現在の被害状況を見ますと、市道では全面通行止め十五

か所、片側通行十一か所、建物被害は、七月十一日現在、住家で一部損壊が一九七五棟、半壊八六棟、全壊一棟の二〇六二棟、非住家を含めると総数二二九三棟となり、今なお被害報告数は増えていまして震災の傷跡がなかなか癒えません。

さらには、家の中の整理がつかない方など、まだまだ日常生活を取り戻すことができない方もいらつしやうり胸がいたむところであります。一日も早い復興に向けて、私たちは力を合わせて、頑張らなければなりません。

今回の震災をとおして、関係する機関、団体との連携、市内の方々からの救援物資や災害ボランティアの受け入れなど、初動時か

ら復興期にかけての対応について十分な検討が必要と感じているところであります。

そうした中、社会福祉協議会では、四月二十日から四月二十六日までの七日間ではありましたが、由布市災害ボランティアセンターを立ち上げ、災害支援として一九七名のボランティアを受け入れ、屋内でのゴミ出しや家財の片付けなどの支援をさせていただき、多くの市民から感謝の言葉をいただいたところです。

災害ボランティアセンターの運営は初めての試みでありましたことから、被災者の需要とボランティア側の供給をうまく結びつけることができなかつた反省点もありましたが、センター閉鎖後も市民からの支援ニーズに対しましては、社協職員が積極的に対応してまいりました。

ボランティアに携っていただきました一般ボラン

ティアをはじめ民生委員、商工会、防災士、バイク隊、湯布院病院の皆様など、たくさんの方々に参加いただきましたことに感謝し御礼を申し上げます。

今後も、三十年以内に、七〇%の確立で発生するとされる南海トラフ地震を含め、様々な場面で災害ボランティアのニーズが予想されることから、災害ボランティアセンターの良好な運営や地域コミュニティづくりのための支援を展開してまいります。

結びとなりますが、被災された全ての方が平穏な生活を取り戻すことができるよう、被災された方に寄り添い、そして地域と共に歩むために、社会福祉協議会職員と一丸となり、皆様の声を聞きながら、由布市の復興支援に取り組んでまいりますので、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 由布市 災害 ボランティアセンター

## ～ 熊本・大分中部地震を受けて ～

今こそみんなで取り組む時  
由布市のために出来ることを  
「せいっぱい」行いました。

4月16日(土)の地震を受け、由布市社会福祉協議会では4月20日(水)から4月26日(火)まで、災害ボランティアセンターを湯布院福祉センターにて開設しました。短い期間ではありましたが、災害支援として197名の方々に、ボランティア支援をして頂きました。



1 センター内を統括し、外部への情報発信や内部伝達を管理する「総務班」



2 センター窓口として電話対応を行い支援内容の情報を整理する「ニーズ班」



3 来所した方への応対やボランティアへの活動保険説明を行う「受付班」



4 ボランティアの中からグループを作り支援依頼と合わせる「マッチング班」



5 支援前のボランティアに活動時の留意点を伝える「オリエンテーション班」



6 必要な資材を把握・提供してボランティアを活動場所に送る「送出し・資材班」

●20日にセンターを立ち上げ後、21日はボランティアの受付を行い、22日よりボランティアの派遣を開始

活動日	4月22日	4月23日	4月24日	4月25日	4月26日
ボランティア派遣人数	60人	64人	36人	16人	21人
ボランティア派遣件数	9件	13件	8件	5件	6件
支援の主な内容	～家の中で日常生活ができる必要最低限の片付け～ 今回起きた地震について、災害ボランティアセンターでは家の中の片付け等の支援に重点を置き、なるべく普段通りの生活が送れるよう派遣を行いました。				
支援依頼の内容	【多かった依頼】 室内の掃除(21件)・家具の移動(19件) 他、割れ物片付け(ガラス・食器)やゴミステーションまでのゴミ出しといった依頼が持ち込まれました。ボランティアセンター閉鎖後の依頼については、社会福祉協議会の職員で対応いたしました。				

# 平成27年度 由布市社会福祉協議会 事業報告

## 全体概要

平成27年度の基本方針に掲げた、由布市総合計画の理念である「融和」「協働」「発展」を踏まえ、「みんなでつろう！誰もが安らげる福祉のまち由布市」の実現に向け活動を進めてまいりました。

新規事業として、由布市から「生活困窮者自立支援事業」を受託しました。事業実施にあたり、対象となる方の自立を包括的・継続的に支援するために専門相談員を配置し、対応を進めてまいりました。

在宅福祉部門におきましては、湯布院事務所及び庄内事務所で実施していた訪問介護事業を事業効率の向上のため事業統合いたしました。

また、介護保険の新総合事業の基幹となる「生活支援コーディネーター勉強会」への参加や「地域に暮らす人達を支える仕組みを考える市民フォーラム」実行委員会委員としての参画など、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを関係機関とともに進めてまいりました。

このように、さまざまな福祉問題や課題、制度変更等に対応するため、関係行政機関や民生委員児童委員協議会、老人クラブ連合会、身体障害者福祉協議会、ボランティア連絡協議会及び福祉施設や福祉団体等と連携し、地域の方々の理解と協力を得ながら、社協事業を実施してまいりました。

なお、平成27年度の主な事業の実施状況については、次のとおりです。

### 法人運営

理事会 7回 監事監査 1回  
評議員会 5回

### 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方へ福祉サービスの利用に関する援助や、日常生活費の金銭管理のお手伝いをします。  
利用者 21名 218回

### 男性料理教室

概ね65歳以上の男性が食生活改善推進協議会の指導の下、料理を作ります。  
12回 107名参加

### 手話講座

障がいのある方とコミュニケーションを図るために講習会を開催しています。  
24回

### 福祉講座

小・中・高生に福祉入門講座等を開催し、高齢者や障がいのある人々に関心をもつ機会を提供し、人を思いやる心を育むことを目的としています。

### 生活福祉資金貸付

低所得世帯に対し、資金の貸付を行うことにより、生活の安定を図ります。  
相談受付 30件 貸付 20件

### 福祉機器の貸出

高齢者や障がい者等の方が自宅で安心して過ごせるように、ベットや車イスの貸出をしています。  
ベット貸出 36台 車イス貸出 24台

### 福祉推進員の設置

各自治区に福祉推進員を設け、民生児童委員や関係機関との連携を図り、安心して暮らせる地域社会を推進します。

### ボランティア支援・援助

ボランティア団体・個人の活動振興や情報共有、交流を図るとともに、若い世代にも「福祉の心」を育てるよう支援します。

### 福祉バスの運行

福祉団体等の研修、各種行事等に活用しています。 195回 4,412名

### 愛のふれあい電話

70歳以上のひとり暮らしの方へ電話で声かけをして、安否確認等を行っています。 1,112回

### ふれあい郵便

70歳以上のひとり暮らしの方へお便りを届けます。  
対象 680名 年間 5,010通

### ひとり暮らしのつどい

年1回、70歳以上のひとり暮らしの方を対象に開催し、交流を図ります。  
年1回 72名参加

### 給食サービス

ひとり暮らし高齢者の方へ食生活改善推進協議会の方が調理されたお弁当を民生委員さんがお届けします。  
年2回

### 親子ふれあいツアー

母子・父子家庭の親子を一日バス遠足に招待します。 42組 116名参加

### 見守り活動

登下校時の子ども達の安全を願い見守り活動を老人クラブ会員・民生児童委員で実施しています。

### 広報誌の発行

社協だよりを発行しています。年4回

## 主な活動報告

### 社会福祉大会

永年社会福祉事業に功績のあった方を称え表彰するとともに社会福祉の進展を図る目的で大会を実施します。

### 各種団体との連携

民生委員児童委員協議会・老人クラブ連合会・身体障害者福祉協議会・ボランティア団体との連携を図ります。

### 友愛訪問

民生児童委員・老人クラブ会員による訪問活動をしています。

### ふれあいいいき健康サロン

健康づくり・生きがいつくりを目的としたサロンを開催しています。  
126回 2,912名参加

### 配食サービス

65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯で自分で調理や買い物が出来ない方を対象に食生活の改善と健康増進を図り、合わせて配達時に安否確認を行っています。 1,780食

### 各種相談事業

総合相談支援・障がい者相談事業  
心配ごと相談 19件  
障がい者相談 665件  
包括支援センター相談 499件  
生活困窮者自立支援 67件  
認知症地域支援事業 35件

### 募金運動の推進

共同募金・歳末たすけあい募金等を推進し、地域福祉事業へ配分します。

# 社会福祉法人由布市社会福祉協議会の 平成27年度事業収支決算状況を報告いたします

社会福祉法人由布市社会福祉協議会  
会長 首藤 奉文

## 平成27年度 決 算 報 告

平成28年3月31日現在

### 貸借対照表

(単位：円)

資産の部		負債の部	
流動資産	188,859,200	流動資産	24,128,255
現金預金	141,230,639	事業未払金	22,595,493
事業未収金	35,831,385	預り金	1,175,804
立替金	11,718,244	職員預り金	278,026
前払金	78,932	前払金	78,932
固定資産	93,902,812	固定負債	2,100,000
基本財産	10,048,940	退職給与引当金	2,100,000
土地	48,940	負債の部合計	26,228,255
定期預金	10,000,000		
その他の固定資産	83,853,872	<b>純資産の部</b>	
建物	714,903	基本金	10,000,000
建物附属設備	0	その他の積立金	67,554,561
車輛運搬具	7,081,785	車輛購入等積立金	12,455,687
器具及び備品	2,902,800	備品施設整備等積立金	55,098,874
ソフトウェア	576,874	貸付積立金	0
福祉資金貸付金	2,607,000		
退職給付引当資産	2,100,000	次期繰越活動増減差額	178,979,196
その他の積立資産	67,556,370	(うち当期活動増減差額)	△6,377,778
その他の固定資産	314,140		
		純資産の部合計	256,533,757
資産の部合計	282,762,012	負債及び純資産の部合計	282,762,012

脚注 1.減価償却費の累計額 67,438,503円  
2.徴収不能引当金の額 0円



### 事業活動収支計算書

(単位：円)

大科目	決算額
(収入)	
会費収益	7,118,000
寄附金収益	7,405,154
経常経費補助金収益	52,976,209
受託金収益	72,293,215
貸付事業収益	3,600
事業収入	768,020
負担金収益	10,526,156
居宅介護料収益(介護報酬収益)	65,208,973
居宅介護料収益(利用者負担金収益)	7,622,362
居宅介護支援介護料収入	46,312,710
介護予防・日常生活支援総合事業収益	11,697,470
利用者等利用料収益	3,807,584
障害福祉サービス等事業収益	11,350,557
その他の収益	3,800
サービス活動収益計	297,093,810
(支出)	
人件費	227,463,807
事業費	48,923,507
事務費	15,636,463
共同募金配分金事業費	6,865,873
助成金費用	1,480,000
負担金費用	617,100
減価償却費	3,731,944
徴収不能額	50,000
サービス活動費用計	304,768,694
サービス活動増減差額	△ 7,674,884
受取利息配当金収益	72,815
その他のサービス活動外収益	1,224,295
サービス活動外増減差額	1,297,110
経常増減差額	△ 6,377,774
特別増減差額	△ 4
当期活動増減差額	△ 6,377,778
前期繰越活動増減差額	181,864,799
当期末繰越活動増減差額	175,487,021
その他の積立金取崩額	3,500,000
その他の積立金積立額	7,825
次期繰越活動増減差額	178,979,196

# 福祉のひろば

## 福祉推進員

平成28年4月1日現在

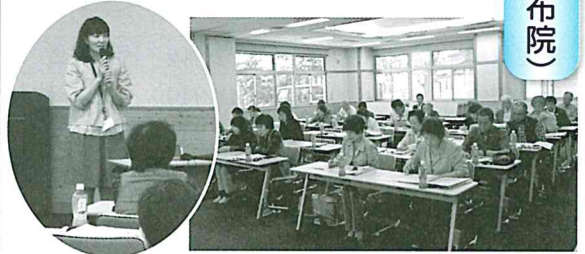
自治区名	氏名	自治区名	氏名
塚原	縣 ミツ子	下依	佐藤 カツミ
津江	佐藤 美千子	前徳野	佐藤 ヒフミ
岳本	津田 淑子	内徳野	新田 美徳
湯の坪	内田 美知子	槐木	日野 眞貴子
中島	浦田 けい子	畑倉	吉野 祐司
佐土原	白石 勲	奥江	橋本 健志郎
並柳	安部 恵子	上津々良	峰 ヤエ子
若杉	衛藤 貞信	下津々良	杉田 敦子
乙丸1	工藤 幸子	鮎川	生嶋 瑤樹子
乙丸2	轟 秀子	湯平1	葦胤 恭子
乙丸3	渡辺 悦子	湯平2	清水 嘉彦
新町1	近江 トン子	湯平3	如法寺 正勝
新町2	倉橋 澄枝	畑	秋吉 文男
荒木	河野 礼子	小平	辻浦 徳見
石武	衛藤 縣	幸野	峯 喜恵子
光永	宇都宮 豊才	水地	佐藤 義男
東石松1	小野 千賀子		
東石松2	永松 柳子		
東石松3	土師 由布子		
西石松	伊美 慶子		
山崎	黒木 恵美子		
平	水内 英子		
中依	立川 忠博		

## 福祉推進員委嘱状交付式並びに研修会（湯布院）

五月十七日（火）湯布院福祉センターにて福祉推進員委嘱状交付式並びに研修会を開催しました。研修会では認知症についての講話を聞き、有意義な研修となりました。

## 男性料理教室 バス研修旅行（庄内）

五月二十五日（水）男性料理教室の参加者と食生活改善推進協議会庄内支部の方が毎年恒例のバス研修旅行を実施しました。今年も国東方面に行き、瑠璃光寺・両子寺で説法を聞き、昼食は梅園の里でバイキングを堪能しました。日頃ご指導いただいている食推協の方々との親睦を深めることができました。



## 親善グラウンドゴルフ大会（挾間支部）

五月二十七日（金）上原グラウンドで由布市老人クラブ連合会挾間支部主催の親善グラウンドゴルフ大会が開催されました。会員相互の親睦と交流を深めること、心身の健康保持・スポーツ振興を図ることを目的として行われるこの大会も今年で三十一回目になります。約二百名の方が参加され、向原長寿会の皆さんが団体優勝を収められました。



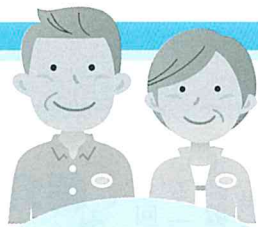
## 全国老人クラブ連合会常務理事、湯布院を訪問

六月十日（金）全国老人クラブ連合会常務理事の斎藤秀樹氏が、熊本・大分地震の被害状況を把握するため、湯布院を訪れました。湯布院福祉センターにおいて、由布市老人クラブ連合会小野満会長が、熊本・大分地震発生からの市内の被害状況を説明し、その後、被害箇所へご案内しました。

斎藤常務理事からは、「少しずつではありますが、日常を取り戻しつつある姿がみられ、嬉しく感じています。これからは、以前にもまして老人クラブが地域の高齢者に寄り添い、市民の元気が取り戻せるような役割を果たしてくれるものと期待しています。皆様のご健勝と地域の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。」と、温かい激励の言葉をいただきました。後日、斎藤常務理事から小野会長に「元気袋」が送られ、各支部の老人クラブ連合会を通して配布させていただきました。



団体優勝した向原長寿会



# 民生委員・児童委員は あなたの相談相手です

広げよう  
地域に根ざした  
思いやり

民生委員・児童委員は、いつもみなさんの立場に立ち、安心して相談できるボランティアです。

民生委員・児童委員は、一定の担当地区を受け持ち、地域や担当する機関と手を取り合い、みなさんがその人らしい自立した生活ができるように、みなさまの暮らしを応援する人たちです。活動の一部をご紹介します。

## 広報活動

挾間町



五月十六日(月)「活動強化週間」の取り組みとして、民生委員児童委員の活動を地域のみならず、まに知っていただくために広報車でPR活動を行いました。

## 学校訪問

挾間町・庄内町



挾間町と庄内町の民生委員・児童委員が各々、町内の幼稚園・小中学校を訪問しました。先生方から学校概要について説明していただいた後、児童や生徒の現状をお聞きし、通学路や地域の課題や問題点、学校と地域、民生児童委員とのつながりについて協議しました。

## 活動報告

## 懇談会

庄内町

六月十五日(水)庄内町民生児童委員協議会と由布市老連庄内支部役員が懇談会を行いました。地域での活動報告の後ひとり暮らし高齢者世帯への見守り活動等について話し合いました。お互い協力しながら地域を支えることを確認しました。



挾間(5月30日・6月1日・3日・15日の4日間)



庄内(6月27日・28日)

## 挾間

おいしいお弁当を  
ありがとうございます！  
**給食サービス**



五月十七日(火)、十八日(水)の二日間、希望のあった七十五歳以上のひとり暮らしの方、二〇七名に給食サービスを実施しました。このお弁当は、食生活改善推進協議会挾間支部の方に栄養面や季節に合った献立を考えて作って頂き、担当地区の民生委員さんに配って頂いております。今回もお弁当を受け取られた方々から、お礼の言葉と喜びの声を多数頂きました。ご協力くださいました皆様方、ありがとうございました。

# ボランティアコーナー

## 紹介

### ボランティアで活躍する方々

#### 湯布院ガイド あさぎり会

今回ご紹介するのは、湯布院町で活動されている「湯布院ガイドあさぎり会」です。会長の土師敬士さんにお話を伺いました。

「湯布院ガイドあさぎり会」では、現在十七名の会員の方がおり、子供から大人まで幅広く湯布院の魅力や文化等の良さを知ってもらおうと、ガイドボランティアとして活動されており、活動のきっかけをお伺いしたところ、「ある観光客の方からの『湯布院町の方は本当に湯布院町を愛しているのですか？誰に聞いても湯布院町の事を知らないと言われます』という発言をきっかけにガイドボランティアの取り組みを始めました。」との事でした。

現在活動を始めて十五年目になるようで、主に湯布院町の観光案内や地域・学校に向向き、湯布院町の歴史文化の説明を行っています。

また、ガイドボランティア養成講座を二年に一度開講し、修了書をもらうとガイドボランティアとして活動ができるそうです。

最後にガイドボランティアの目標を伺いました。「地域を愛する心、郷土を愛する心を子供たちが受け継いでくれるよう頑張っていきたい。」と語られていました。



### お問い合わせ先

#### 湯布院ガイド あさぎり会

会長 土師 敬士  
 自宅 ☎0977-85-3027  
 携帯 090-1878-2980

### 主なガイドコース

※2人以上で申し込みください。  
 ※ガイド料は有料です。お問い合わせください。

- JR由布院駅から金鱗湖(2時間コース)
- 金鱗湖周辺(1時間コース)
- JR由布院駅から興禅院・金鱗湖(2.5時間コース)
- 大分名水・由布岳ビューポイント(2.5時間コース)
- 興禅院から宇奈岐日女神社(1時間コース)
- その他コース



## 大分地震由布市災害 支援金について

由布市・宇佐市両ボランティア連絡協議会が、大分地震における由布市の復興に活用して頂くようにと、災害支援金を市に寄贈しました。地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



由布市ボランティア連絡協議会



宇佐市ボランティア連絡協議会

## 2016年夏のボランティア 体験月間のご案内

実施期間：平成28年7月21日～8月31日

県内の学生・生徒及び社会人に夏休みを中心とした一定期間、自発的な活動を体験することにより、自分達が住む地域社会の福祉課題や地域課題を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進し、ボランティア活動の振興を図ることを目的に実施しています。

- ★参加対象者… ①県内の児童・生徒・学生  
 … ②県内に在住又は勤務する社会人および中高年層

※各施設で受け入れ条件(活動日・時間帯)が異なります。  
 詳しいパンフレットが社会福祉協議会にありますのでご確認ください。

### 受入れ施設

挾間	庄内	湯布院
特別養護老人ホーム 若葉苑	総合ケアセンター情和園	由布市社協湯布院事務所
介護老人保健施設 健寿荘	養護老人ホーム寿楽苑	通所介護サービスセンター
障がい者支援施設 大分県のぞみ園	庄内厚生館デイサービスセンター長宝	由布の麓ROK
コンチェルトはさま	障害者支援施設 久保更生園	ほほえみ工房
森の家	向陽学園	
子育てサポートステーションオレンジハウス	放課後サポート倶楽部 らいん	
ごとう医院通所リハビリテーション	あなみ保育園	

是非ご応募  
ください!







# 抱え込んでいませんか？



- 地域とのかかわりがもてない。
- ひきこもりの生活を何とかしたい。
- 公共料金や家賃が払えず困っている。
- 仕事が見つからない。長続きしない。
- 収入と支出のバランスが取れない。
- どこに相談して良いか分からない困り事がある。

ひとりで悩まず、  
一緒に考えましょう。

平成28年度より

「より具体的」「より専門的」な支援を行えるようになりました。

例えば 専門機関と連携しながら…

就労が困難な方に

就労準備支援事業

「社会との関わりに不安がある」、「他の人とコミュニケーションがうまくとれない」など、直ちに就労が困難な方に6カ月から1年の間、プログラムにそって、一般就労に向けた基礎能力を養いながら就労に向けた支援や就労機会の提供を行います。

収入と支出のバランスが取れないなど  
家計が困難な方に

家計相談支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸付のあっせん等を行い、早期の生活再生を支援します。

まずは、生活相談窓口まで  
ご連絡を

専門の相談支援員が寄り添いながら問題・課題について一緒に考え、安心して生活できるまでサポートしていきます。

秘密は厳守されます。

対象者 由布市内にお住まいの方で、日常生活に心配のある方、経済的に困りの方などを対象(生活保護受給中の方は除く)  
相談時間 平日 8時30分～17時15分 (土日、祝日年末年始の休業日は除く)  
電話 **097-582-2756** (地域福祉課 担当：小野伸治・姫野博俊)

## お知らせ 認知症出前講座を行っています

由布市内の団体や地域住民を対象に、認知症に関する講話を行っています。ご希望に応じた内容で、地域に出向いておりますので、興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

- 認知症についての話を聞いてみたい。
- 認知症のことを知りたい、予防したい、支えたい。
- 認知症の徘徊って？徘徊模擬訓練ってどんなことをしているの？

老人クラブや地域の集まりを利用して、認知症について学んでみませんか？



お問合せ 認知症地域支援推進員：太田 TEL097-582-2756 / 090-8668-5337

# ふれあいいきいき健康サロン

あなたも、私も、みんなが主役！

平成28年度  
4月～6月実施状況です。

楽しく・気軽に・無理なくふれあいを通して仲間づくりをしよう。



高崎自治区



上々淵自治区



川南地区



柏野自治区



直野内山自治区



乙丸地区

## 挾間

5月24日 柏野自治区  
6月 1日 高崎自治区  
6月 3日 同尻自治区  
6月20日 古野郷自治区  
6月28日 小野自治区

## 庄内

6月13日 上々淵自治区  
6月23日 直野内山自治区  
6月27日 甲斐田自治区

## 湯布院

5月23日 打合せ会  
6月14日 畑・小平地区  
6月24日 川南地区  
6月27日 石光地区  
6月29日 乙丸地区

## 募集

### 看護師 ボランティア



社会福祉協議会ではふれあいいきいき健康サロン開催時に健康チェックをしていただける看護師さんを募集しています。1回1時間から2時間を目安に参加者の血圧測定・健康相談等を行います。ご協力をお願い致します。

詳細につきましては、各事務所へお問い合わせをお願い致します。

### 「ふれあいいきいき健康サロン」って どんなことをするの？

- 血圧測定・健康チェック
- 健康体操・軽スポーツ・ゲーム  
レクリエーション
- 専門家によるお話（健康・暮らし安全など）

### いつもありがとうございます

「ふれあいいきいき健康サロン」は自治委員、民生児童委員、福祉推進員、老人クラブ会長、ボランティアなど地域の様々な方々のご協力を得て開催されます。日頃のご支援に紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

お問合せ

挾間事務所  
TEL 097-583-4344

庄内事務所  
TEL 097-582-2756

湯布院事務所  
TEL 0977-84-3610

# 寄付のお礼

**市民の皆様へのあたたかいご芳志に感謝申し上げます**  
 由布市社会福祉協議会へ次の方々から香典返し等ご寄付をいただきました。紙面をもって厚くお礼申し上げます。  
 ご寄付は地域福祉推進のため有意義に活用させていただきます。  
 お名前及び寄付金額等の記載につきましては、ご本人の意向に沿っての掲載とさせていただきます。  
 皆様方のご理解のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

平成二十八年四月一日～六月三十日までの  
 受付分を記載しています。

## 香典返し (敬称略)

### 挾間町

速水	宮子	古野郷	金	一	封
安部	敏明	来鉢東部	三〇、〇〇〇	円	
森下	法保	下筒口	一〇〇、〇〇〇	円	
指原	孝江	田ノ小野	金	一	封
利光	昭広	下市	金	一	封
園田	幸豊	詰	二〇、〇〇〇	円	
荒井	研一	来鉢中部	五〇、〇〇〇	円	
井原	孝好	南田代	二〇、〇〇〇	円	
川野	徳昭	鬼瀬	金	一	封
福田	カズコ	柏野	二〇、〇〇〇	円	
佐藤	憲市	鶴田	金	一	封
二宮	隆晃	北田	金	一	封
内田	光彦	喜多里	三〇、〇〇〇	円	
後藤	幹愛	古野	三〇、〇〇〇	円	
首藤	美和子	東行	三〇、〇〇〇	円	
川野	徳昭	鬼瀬	三〇、〇〇〇	円	
油布	丁一	上市	金	一	封



### 庄内町

佐藤	芳猶	高岡	一〇〇、〇〇〇	円	
安部	憲利	西	五〇、〇〇〇	円	
日野	康善	平石	金	一	封
芝野	義典	岡山県	金	一	封
日野	テル子	一木	三〇、〇〇〇	円	
森	光明	龍原	金	一	封
曾根	崎秀一	東大津留	五〇、〇〇〇	円	
生野	順治	挾間町	三〇、〇〇〇	円	
工藤	吉輝	平石	金	一	封
橋本	早人	柿原	金	一	封
伊藤	道春	大分市	二〇、〇〇〇	円	
大塚	寿徳	阿蘇野	金	一	封
松本	巳智子	西長宝	金	一	封
首藤	義明	南大津留	金	一	封
廣瀬	恒子	西大津留	金	一	封
首藤	善友	東大津留	五〇、〇〇〇	円	
斉藤	正彦	大龍	三〇、〇〇〇	円	
吉良	正治	東長宝	五〇、〇〇〇	円	
佐藤	浩治	西	三〇、〇〇〇	円	

### 【お詫びと訂正】

前号に掲載しました地区名に間違いがございましたので、お詫びし訂正いたします。

誤 佐藤 篤様(五ヶ瀬)  
 正 佐藤 篤様(大龍)

### 湯布院町

吉岡	三枝子	川上	三〇、〇〇〇	円	
佐藤	敏之	川西	五〇、〇〇〇	円	
匿	名	川南	五〇、〇〇〇	円	
佐藤	一信	川西	金	一	封
今川	正治	湯平	五〇、〇〇〇	円	
岩尾	復美	福岡県	三〇、〇〇〇	円	
立川	忠実	川北	三〇、〇〇〇	円	
溝口	紀子	川上	金	一	封
畔津	博光	塚原	三〇、〇〇〇	円	
田中	洋一	川南	五〇、〇〇〇	円	
池田	泰二	川北	五〇、〇〇〇	円	
多田	カツヨ	川南	三〇、〇〇〇	円	
大久保	千鶴子	庄内町	五〇、〇〇〇	円	
窪田	君子	川南	金	一	封
杉田	哲治	川西	三〇、〇〇〇	円	
河野	興明	川中	三〇、〇〇〇	円	
八川	治人	川上	五〇、〇〇〇	円	

### 一般寄付 (敬称略)

#### 庄内町

安東 政臣 大阪市 一〇、〇〇〇円  
 山崎 佳子 手作り椅子カバー寄贈



手作り椅子カバー

## 社会福祉協議会 ご寄付された方々 へのお知らせ

これまで個人が社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、所得控除制度が適用されてきました。平成23年税制改正による新たな税額控除制度は、寄附金のうち2,000円を超える部分の40%を所得税から控除できることになりました。(個人が、一定の要件を満たした社会福祉法人へ寄附金を支出した場合、当該寄附金について、税額控除制度の適用を受けることができます。)

### 税制改正前の寄附金控除制度

● 所得控除  
 $(\text{所得金額} - \text{所得控除額}) \times \text{税率} = \text{税額}$

### 税制改正後の寄附金控除制度

● 税額控除  
 $\text{税額} - \text{税額控除額} = \text{納税額}$

★ 税額控除額の算出式 個人が支出した寄附金について、確定申告時に税額控除制度の適用を選択した場合、以下の算式より算出された額が、所得税額から控除されます。

$(\text{税額控除対象寄附金}(\times 1) - 2,000\text{円}) \times 40\% = \text{控除対象額}(\times 2)$  ※2 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

※1 税額控除対象法人への寄附金額  
 寄附金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が税額控除対象寄附金となります。

この額が所得税額から控除されます。

詳細につきましては、  
 最寄りの税務署及び  
 市の税務課にお尋ね下さい。

# 親子ふれあいツアー



平成28年  
**8月7日** 日 雨天決行

**行き先** 城島高原パーク

**参加対象** 母子・父子世帯の親子(高校生まで)

**参加費** 無料

**持ち物** 雨具・水筒(昼食は準備します)



**お問合せ**  
**由布市社会福祉協議会**  
 ☎097-582-2756 (担当: 大塚)

## 由布市社会福祉協議会 職員募集

**募集職種** 介護支援専門員 若干名  
 介護福祉士 若干名

**申込み・お問合せ** 詳しくは総務課までお問い合わせください。  
 総務課 (佐藤) TEL097-582-2756

住み慣れた地域で  
 たくさんの笑顔に  
 囲まれながら  
 一緒に働きませんか?



## 心配ごと相談 **無料**

社会福祉協議会では各種相談を受け付けています。どんな悩みでも結構です。お気軽にご相談ください。秘密は厳守いたします。相談内容によっては専門機関と連携し解決をはかります。

- 例えばこんな相談
- 暮らしや住まいに関すること
  - 家族に関すること
  - 健康や医療に関すること
  - 福祉に関すること

日 程	時 間	場 所
毎月第2・4木曜日	9:00~12:00	挟間老人福祉センター(社会福祉協議会挟間事務所)
毎月第2・4火曜日	9:00~12:00	ほのぼのプラザ(社会福祉協議会庄内事務所)
毎月第2・4木曜日	13:00~16:00	湯布院福祉センター(社会福祉協議会湯布院事務所)

心配ごと相談員のみなさんです

挟 間	寛松 昭廣	奥野 昭生	中島 裕	荒巻 道雄	田松 嘉香	得丸富美子
	坂本知恵子	大嶋 昌子	梅野 悦子	豊岡 陽子		
庄 内	土屋成八郎	首藤 善友	山崎 佳子	大向 弘	佐藤 晴美	
湯布院	峯 浩昭	大島喜久枝	高田 作藏	竹下 幸夫	今井 干城	志手百合子

**発行** 社会福祉法人 **由布市社会福祉協議会**

**本 所** 〒879-5434 由布市庄内町庄内原365番地1  
 庄内事務所 TEL 582-2756 FAX 582-2878

**挟間事務所** 〒879-5502 由布市挟間町向原16番地  
 TEL 583-4344 FAX 583-1041

**湯布院事務所** 〒879-5102 由布市湯布院町川上2863番地  
 TEL 0977-84-3610 FAX 0977-85-4921

★★★ **編集後記** ★★★

皆様いかがお過ごしでしょうか。長かった梅雨がようやく明け、本格的な夏を感じております。夏といえば、花火大会やお祭りなど行事ことが多いですが、この季節に注意が必要なのは熱中症です。適度な水分・塩分補給、バランスのとれた食事管理、十分な睡眠の確保を心がけ、熱中症にかからないように注意しましょう。皆様体調をくずされませんように、お元気で過ごしてください。(お)